

# 平成26年度 教育行政方針 (要旨)

平成26年第3回置戸町議会定例会において、平野毅教育長が示した教育委員会の所管事項に関する主要な方針についてお知らせします。



## 学 校 教 育

**大**きな課題となっている児童生徒の学力を高めるため、巡回指導教員を配置し、ティーム・ティーチングによる授業や若手教員の指導、授業づくりに関わる支援などを行ってまいります。

特別支援教育については、特別支援教育支援員を増員し、さらにきめ細かな支援にあたります。また、関係者が連携協力し継続的な支援を図るため、特別支援連携協議会を開始いたします。

小学校では、鉄棒施設の増設、行事用テントの更新を図ります。また、校舎・体育館に網戸を設置し、快適な学校生活を送れるよう努めます。

中学校では、施設の耐震補強及び大規模改修工事が2年目を迎えますが、生徒にとっての学習環境の確保を第一優先に取り組んでまいります。

施設の環境整備では、熱中症対策などのため、グラウンドにあずまやを設置いたします。

国際化教育については、英語指導助手を配置し、外国語教育の充実を図ってまいります。

置戸高等学校の支援については、福祉科準教科書、バス通学費、寮費の一部支援や、道内中学校に対するPR活動を継続してまいります。

また、4月よりかねてから要望のありました学校給食の提供を行ってまいります。

## 社 会 教 育

**ま**ちづくりは人づくりを基本としながら、置戸町民憲章と置戸町教育目標による事業の推進を図

ってまいります。本年度は、平成27年度から31年度までの第10次社会教育5ヶ年計画の策定作業を進めてまいります。

社会教育関係団体については、リーダー育成を主眼としながら、時代に適した活動を推進できるよう支援してまいります。特に、次代のまちづくりの担い手となる青年の研修事業として、「まちづくり青年国内研修」を再開し、まちづくりや農林業・商工業などの先進事例について視察研修を行います。

食のまちづくり推進事業については、食育の普及のため各年代・親子での料理講習の実施と、地産地消推進のため農業者と消費者をつなぐ仕組みづくりを検討します。また、食を通じた地域のコミュニケーションの充実に向け公民館サロンの開催や、将来構想として、地域食堂やコミュニティーレストランなどについての研究も進めます。



月一で開催されている公民館サロン

郷土資料・文化財関係については、札幌学院大学との地域協定をもとに、埋蔵文化財の発掘実習に加え、勝山地区との地域交流や外国人留学生との国際交流など広がりを見せています。本年度も引き続き学術分野での協力と交流を進めながら、新たに郷土